

箱根登山鉄道 総務部

〒250-0045 神奈川県小田原市城山 1-15-1

THANKS 120th HAKONE TOZAN RAILWAY

箱根登山電車「Bトレインショーティー」を発売!

創業120周年記念の一環として、1000形2種類を発売します。

箱根登山鉄道株式会社（本社・神奈川県小田原市、社長・和田雅邦）では、創業120周年記念キャンペーンの一環として、2009年2月16日（月）から「Bトレインショーティー」の発売を開始いたします。

本製品は、1981年に導入した箱根登山電車1000形車両をモデルとした鉄道グッズです。同車両は、翌1982年に鉄道友の会よりブルーリボン賞を受賞した車両で、姉妹提携先であるスイスのレーティッシュ鉄道ベルニナ線にちなんで「ベルニナ」号の愛称がつけられています。

本製品の概要は次のとおりです。

記

1. 商品名 「Bトレインショーティー」箱根登山電車1000形
- 1000形ベルニナ号は、現在2種類のカラーリングで運行を行っており、商品は先頭車と中間車がそれぞれ1両入った2両セットで販売いたします。
- ◇品番①：1000形 【復刻旧塗装】
- 当社創業120周年を記念して、登場当時の旧塗装（小田急ロマンスカーと同じ朱色・白・グレーの配色）に復刻して運行しています。
- ◇品番②：1000形 【レーティッシュ塗装】
- 姉妹提携先のレーティッシュ鉄道のカラーリングを模した赤を基調とした新塗装で運行しています。
- ※㈱バンダイ製のBトレインショーティーです。
- ※この商品は当社オリジナルのため、一般小売店での販売は行っていません。



(2種類の塗色で発売【写真は試作品】)



(モデルの1000形車両)

2. 販売価格 1, 200円 (税込)
3. 販売個数 12, 000個 (各塗色 6,000個ずつ)
4. 発売日 2009年 2月16日・月曜日 (全2種類、同時発売)
5. 発売箇所 箱根湯本駅、強羅駅、早雲山駅、本社鉄道部 (小田原) ならびに通信販売
6. 先行販売 毎年恒例の鉄道イベント「ヨコハマ鉄道模型フェスタ 2009」(2009年2月6日～8日の3日間、横浜ランドマークプラザで開催) に当社ブースを出店し先行販売を実施する予定です。
7. その他 《通信販売について》
現金書留 (もしくは郵便小為替) にて下記の住所まで代金をお送り下さい。送金金額確認後、送料は着払い扱いにてお送りいたします。(送料は地域により異なる)
【送り先】 〒250-0045 小田原市城山1-15-1
箱根登山鉄道 グッズ係 宛
電話 0465-32-6823
8. 小田原馬車鉄道創業の概要 (参考)

当社は、明治21年(1888年)10月1日に馬車鉄道による運転を開始して以来、今年で120周年を迎えます。

東海道線が東京・新橋から横浜間に開通したのが明治5年(1872年)のことで、これが国府津まで延長され開通したのが、明治20年(1887年)のことである。しかしその後の国府津以西の延長計画のなかには、小田原は含まれていなかった。つまり、箱根・足柄越えには、小田原の手前酒匂川の上流沿いの松田～山北～御殿場のルートが採用されていた。これは、江戸開府以来、東海道の主要な宿場町として栄えてきた小田原の人々にとって大きな打撃であった。今まで東京から湯本へ湯治に行く人たちは、必ず小田原で乗合馬車を降り、ここから人力車や駕籠に乗っていたからであり、当然、小田原では箱根への湯治客の足も遠のくことが予想された。

当時、東海道幹線からはずされることは、近代文化から取り残されることである。これは、小田原の人にとっては耐えがたいことであった。そこで計画されたのが、国府津～小田原～箱根を結ぶ私設鉄道敷設計画であった。

明治20年（1887年）11月20日、小田原の有志吉田義方（よしだよしかた）を発起人代表として、国府津～小田原～湯本間の馬車鉄道敷設の請願書が神奈川県庁に提出された。翌年、明治21年（1888年）に免許を受け、ただちに「小田原馬車鉄道株式会社」の設立となった。初代社長には吉田義方が就任、資本金6万5000円、本社を幸町1丁目24番に、分社を国府津と湯本に設置した。

新会社は、さっそくレール敷設工事にとりかかった。工事は官公庁をはじめ、地元有力者の強力なバックアップのもとに進められ、同年9月3日全線竣工という驚くべき短期間のうちに終了した。これは唯一開業されていた東京馬車鉄道の繁栄という手本のもとに、箱根・小田原地方発展の原動力となってもらいたいという地元の熱い願いが底流にあってこそその好意的な配慮であったと思われる。

厩舎は松原神社の裏に建てられ、ここで馬が飼われた。また車両は英国ジュワルジミルンス社から6両、米国ジョンステヘンソン社から5両購入され、いよいよ開業を待つばかりとなった。

明治21年（1888年）10月1日、新装したばかりの本社社屋での開業式が行われたあと、全線の営業が開始された。起点は東海道国府津停車場前、終点は湯本の旭日橋の手前広場で、この間12.9km、軌間は4フィート6インチ（1,372mm）であった。この鉄路上を2頭立ての馬車が、国府津～小田原間を約30分で、小田原～湯本間を約35分で走った。

当社発行「すばらしい箱根グラフ100」より抜粋

以 上

このニュースに関するお問い合わせは

箱根登山鉄道株式会社 鉄道部 （電話 0465-32-6823）

まで、お願いいたします。